

## 第7回 市民プロジェクト

開催日時	平成25年12月19日(木) 午後7時05分～午後9時00分	
会場	北区白新町2丁目 長岡屋 2Fホール	
参加者	メンバー	小日向、中村(直)、長谷川、 青木、相沢、 五十嵐(信)、豊崎、尾崎、入山 (敬称略) 太字は女性 計 9名
	事務局等	豊栄駅前通商店街振興組合 1名 事務局チーム 5名 計 6名
内容	<p><b>1 開会(午後7時05分)</b></p> <p><b>2 オリエンテーション</b></p> <p>・資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回市民プロジェクト議事録、まとめ</li> <li>・今後のスケジュール</li> <li>・第3回まちづくり構想検討員会議事録</li> <li>・添付資料(北区役所庁舎及び敷地について、高齢者施設と住宅 等)</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第3回まちづくり構想検討委員会での中間報告について <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民プロジェクトへの提言として、幾つかのアドバイスがあった。</li> <li>・A案よりもB案、C案を中心とする複合機能を具体化してもらいたい。</li> <li>・一つの案に絞る必要もなく、幾つかの案を示しても良い。</li> <li>・本館の跡地利用という事業を後ろ向きに考えるのではなく「千載一遇のチャンス」と捉えて、明るい将来像を描ける利用方法を検討してもらいたい。</li> <li>・行政サイドとして受け入れやすいように、まずは市有地の範囲内で計画を具体化するために一定の制約の中で検討を進めてもらいたい。</li> </ul> </li> <li>2. 今後の市民プロジェクトについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、次回のプロジェクトで具体化されたものを事務局で整理します。整理した案をもって来年2月に予定している「公開シンポジウム」で発表します。</li> <li>・それぞれの案について精度を高める時間が少ないとは思いますが、出来得る限りの整理を事務局が実施する予定です。</li> <li>・検討委員会、自治協議会とハードルは高いとは思われますが、出来るだけ修正しない内容で新潟市当局に提案できるような「素案」を目指します。</li> </ul> </li> </ol> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>Q1、自治協議会や検討委員会が求めているものを、数値や予算などで具体的に示してもらう事は出来ないだろうか？</p>	

- A・最終的には行政が「この地域で求めているものだ」と認識すれば、行政の計画として予算化されることとなります。私たちができることは、本当に行政を納得させることができる根拠、内容や精度を持った「素案」が示せるかどうかです。
- Q2、将来像を考える時、求めている「賑わい」と言っても漠然としていて、具体的なイメージがはっきり伝わってこない。万代地区のような賑わいなのか？
- A・6月から9月まで私たちは「葛塚地区がどうなって欲しいのか？」を検討しました。万代地区のような賑わいを求めている内容は無かったと思います。誰かに求められているのではなく、私たち自身が求める姿をターゲットにしたいと思う。
- Q3、既存の住宅地にまで範囲を広げてしまったが、今回以降のプロジェクトでは、どの範囲で検討を進めれば良いのか？
- A・委員会のアドバイスは素直に受け入れたいと思っている。出来るだけ行政が受入れて事業化し易い計画の提案に重きを置いたほうが良いと思っている。
- ・これまで様々な計画や検討がなされてきたが、報告書で終わっているものが多かったのではないかと認識している。これだけ努力したのに実現化しなければ、これまでと同じになってしまう。そうならないための方策と思います。
- Q4、せっかく自主的な勉強会的な市民プロジェクトで周辺部の住宅地まで関心が及んでいるのだから、アンケート的に周辺住民の意思を確認する作業はあっても良いし、こういう機会に住民の意思を確認して行政に結果を示すことも重要と思われる。
- A・良い提案だと思います。今後の公開シンポジウム等の内容を検討する際に、参考にしたいと思います

## 2 グループ別ワークショップ

- (事務局) 1. 第6回まとめで示したように、今回も3つのグループで討議します。
- 2. Aグループは「区役所機能」を中心としたグループ
  - Bグループは「広場集会施設機能」を中心としたグループ
  - Cグループは「住宅政策機能」を検討するグループ
3. 参加者は自分が担当したいグループで議論を深めてください。
4. グループ毎に、「背景・目的・計画概要・効果・手法」に至るストーリーを明確にして欲しいと思います。また、計画概要については参考資料などを把握した上で、より具体的な計画内容としてまとめてください。

### それぞれの案毎の留意点

- A案・検討委員会のアドバイスを参考にして、ストーリーを整理して欲しい。
- ・「移転新築」という表現をどのようにクリアするのか？検討して欲しい。
- B案・複合施設としてどのような機能を集約するのか？
- ・ストーリーと共に、明るい未来像を描いて欲しい。
- C案・とかく「福祉」的な捉えられ方で認識される傾向にあるのだが、それだけではないという内容があるので、それを上手に表現できるようにしてもらいたい。
- ・高齢者にスポットが当たっているが、若者を中心とする発展軸も示す必要がある。

## <テーマ>

「区役所本館跡地には何が相応しいのか？」

※第5回市民プロジェクトまとめを参考にして、具体案を示してみよう！

別図1～3 参照

グループ別発表（発表者：A中村、B入山、C青木）

### Aグループ（発表：中村）

- ・ 検討委員会のアドバイスを受け、新たな提案として整理した。
- ・ 新館には市民がよく利用する窓口である「市民課」「健康福祉課」「税務課」を配置し、以外の課については、街なかの空き店舗に配置する方式を提案する。
- ・ 「区長屋」「下水道課屋」「地域課屋」「産業振興課屋」などが、街なかの商店街と同じ通りに業務を分散する方式で、日本初！の「新しい区役所機能」にチャレンジする。
- ・ 区役所新築という巨大投資が無くなり、補助制度のある空き店舗対策事業で、内部改装費や修繕費を賄い、空き店舗の家主には賃借料を支払う。利用者が街なかを行き交うことで人通りや賑わいが増えると思われる。三方よし！の画期的なアイデアだ。

### Bグループ（発表：入山）

- ・ 世代間交流の促進と人間関係の修復と言う目的を明確にした。
- ・ 広場機能だけでなく、そこでの経済活動も含めて賑わいの創出を目指す。
- ・ 屋根付き広場で市場開催やフリーマーケット開催等のイベント広場とする。
- ・ 新館施設を利用してサテライトキャンパス、カルチャースクール、公開セミナー等の知的な拠点として、学生から地域住民を含む世代間交流を促進する。
- ・ 学生や若者向けの貸しホールや貸し教室としても活用できる。
- ・ 子供による職業体験（キッズニア）や農業体験の窓口となる。
- ・ 学生の知識を生かした地域貢献活動の拠点とする。学生も地域から学ぶ拠点となる。
- ・ リタイヤ世代に活躍してもらうためのコミュニティビジネスセンターを設置する。
- ・ ビジネスの展開によって、雇用の促進と定住促進を狙う。

### Cグループ（発表：青木）

- ・ 特別養護老人ホームやグループホームと言われる施設ではなく、自立生活ができる世代の高齢者で社会的貢献を望む高齢者を考えている。
- ・ 介護が必要な高齢者ではなく、おおむね自立して生活できるが独立して生活することに不安のある元気高齢者の「街なか居住」を促進したい。  
具体的には「生活支援ハウス」「ケアハウス」も含め、「サービス付高齢者向け住宅」や「高齢者向け市営住宅・優良賃貸住宅」の制度を活用したい。
- ・ 周辺住宅地から単身高齢者及び高齢夫婦世帯の「街なか居住」を進める中で、周辺部の空家になる戸建て住宅を活用した新家族世帯への住替え促進を進められる。
- ・ リタイヤ世代の「街なか居住」と共に、コミュニティビジネスへの参入を促進し、リタイヤ世代と若年者との共同事業化を目指す方向性を明確にしたい。
- ・ 居住と共同事業によって、世代間交流を促進し賑わいを創出したい。

- ・コミュニティビジネスによるボランティアの事業化を目指したい。  
子育て、保育、教育、教養、介護、リハビリ、見守り、体操、家事、配食、カフェ、地場産レストラン、日替わり主婦シェフ、郷土料理、街歩き、など、一人ではできないがグループで出来るコミュニティビジネスによって、生きがいを持って輝ける場と交流が促進され、展開できる可能性と分野は大きく広がっている。
- ・新館はコミュニティビジネスを促進するためのセンター機能を持つ。若者から高齢者まで、誰でも自分が出来る技能や知識を生かせる分野でグループを組み、社会的貢献ができるビジネスを探すための「仲人」の窓口として役割を果たすことを求めたい。

(事務局)

- ・各グループの記録係である大学生に、それぞれの議事録を整理してもらいます。
- ・来週24日(火)の事務局打ち合わせ会にて、議事録で質疑応答をおこないます。
- ・とりあえず、提出していただいた議事録を持ってホームページにアップします。
- ・事務局としては、公開シンポジウムまで時間が無いので、事務局内での質疑応答や意見交換を経て、次回第8回市民プロジェクトまでに提案内容の精度アップを目指します。
- ・第8回市民プロジェクトにて、公開シンポジウム用の原案を決定したいと思います。
- ・早めに知りたい方はホームページを参照してください。

### 3 今後の予定について

★第8回市民プロジェクト

日時：平成26年 1月16日(木) 午後7時～9時

会場：白新町2丁目 長岡屋 2F

### 4 閉会(午後9時10分)